



A13
4448



此冊子と云文化の末の幸は出刻はそよと編料せし
 いろは貞祐の二書あり其後多ありて板本早う方に
 録りうけを御座りたりと云々
 新と再版し独心あり増補ありと物備二編とのよ
 今年春の志をくさみればはるを志すの理 板元



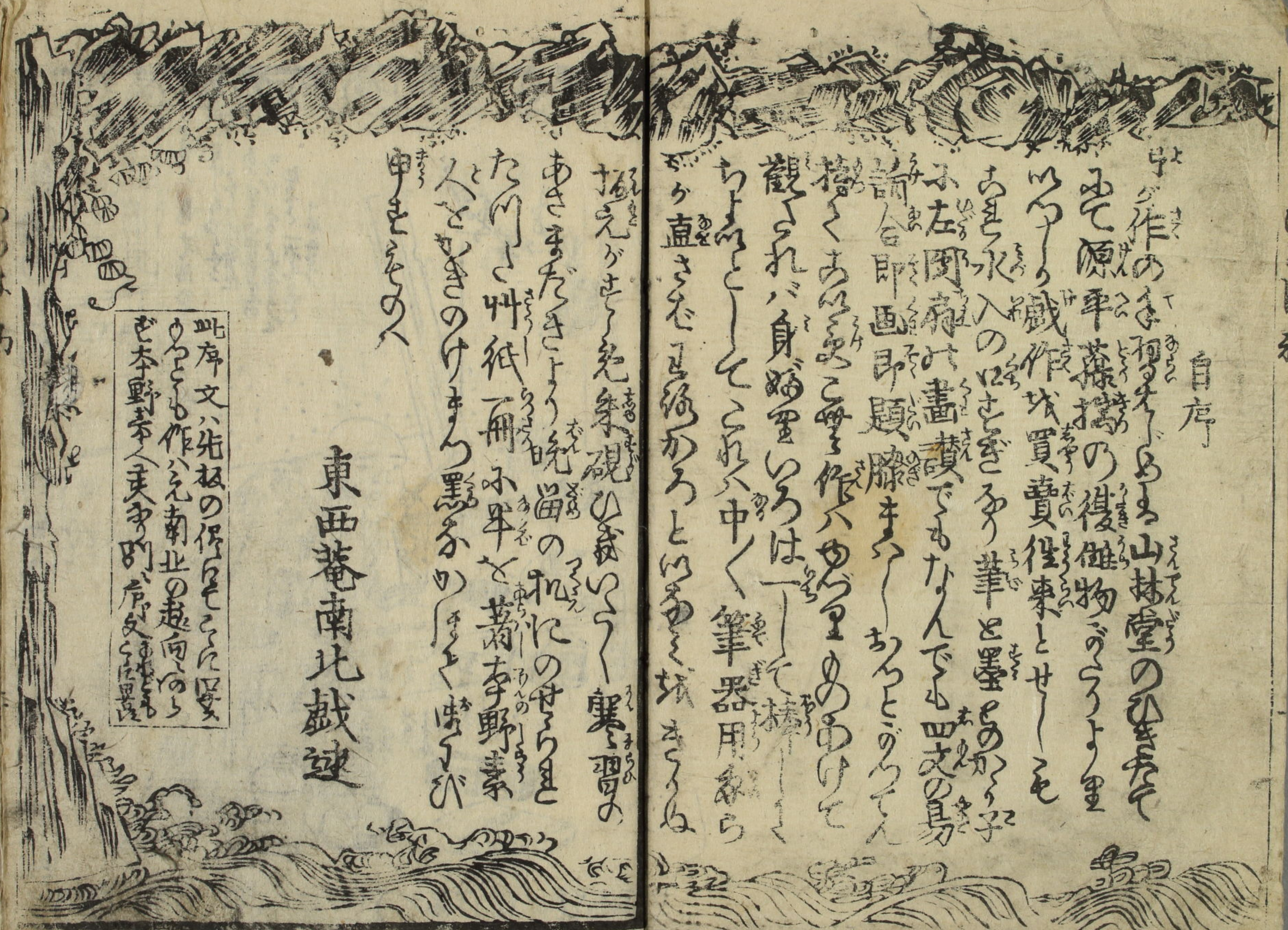
自序

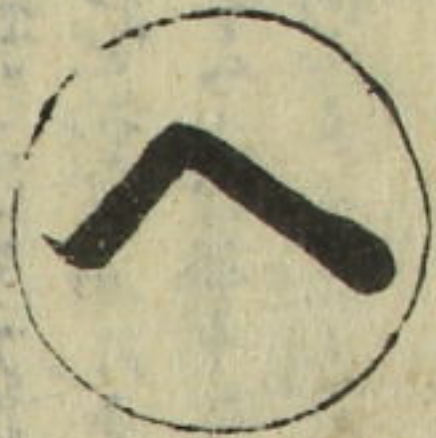
此作の筆初より山林堂のひまを
てて原平藤操の復雑物よりより
りりり戯作坊買費往來とせしを
あま水入のほとをり筆と墨との
ふ左岡麻叶畫讀でもたんで四支の身
論合即画即題膝まらあるといふ
擲くあま史こそ作らゆらまのりて
觀られバ身ぬ重いろは一筆器用
ちよふとてこれ中く筆器用なら
ま直さるる路かろといふあま

擲えがさる免朱硯ひあつて寒習の
あままだささう硯のねにのせらま
たのし竹紙一冊ふ平と著者野素
人ともまのけまら野素のほとくは
申さるる

東西菴南北戯述

此序文ハ先板の保りそらん
ゆりとも作え南北の趣向
む本野素人まのり野素





人入の

人入

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の



人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の



人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の



人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

人入の

か

まじろをぬきかき
京女と東女区ニ入りて
かの字乃身振をまじる

「これらもまじり
おき入一うんせ

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

「まじりてんあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい



「あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

よ

「あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい



あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

あぢいさんちのあぢい
あぢいさんちのあぢい

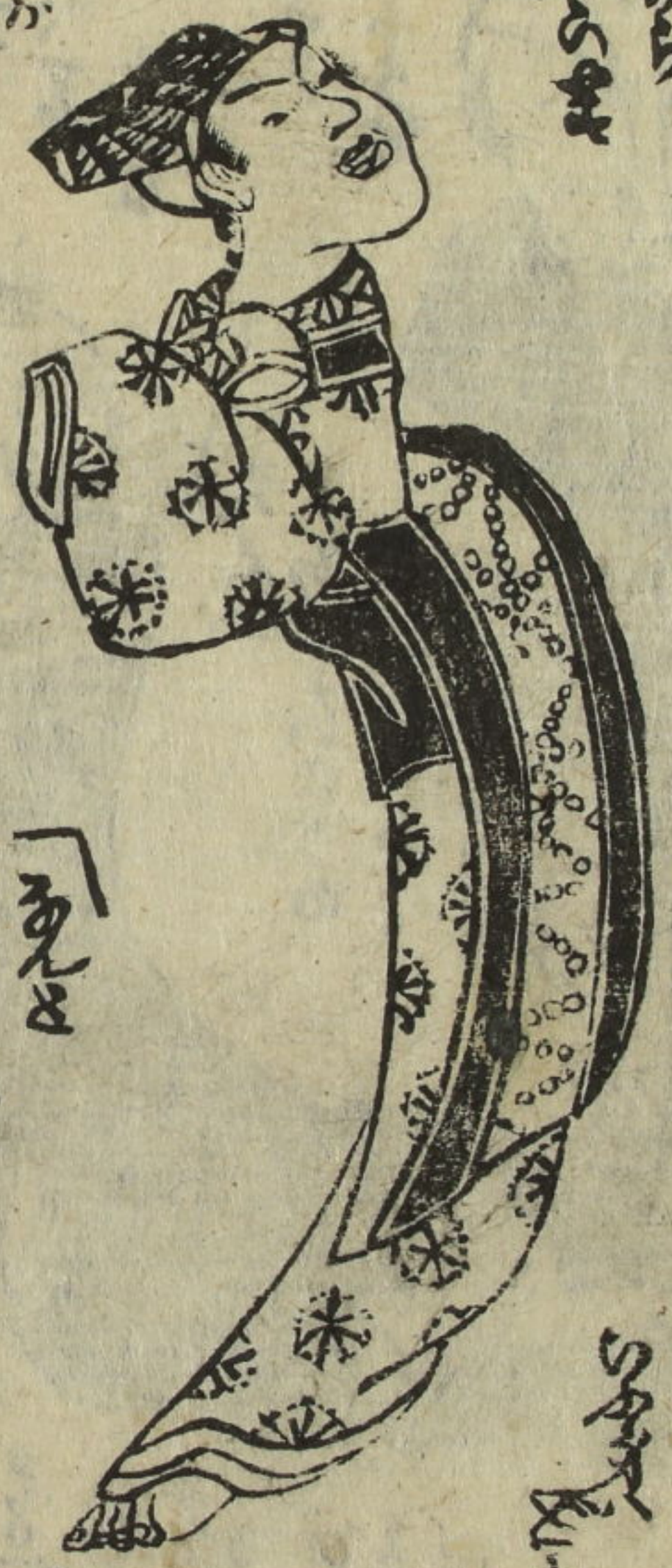
う

「月の下へはなれ
ちかき雲の影をよしの
かきかしのあつらひ

あつちんてんてん

SPARK
KUCHU

うのひはあつちんてんてん
うのひはあつちんてんてん
うのひはあつちんてんてん
うのひはあつちんてんてん
うのひはあつちんてんてん
うのひはあつちんてんてん
うのひはあつちんてんてん
うのひはあつちんてんてん
うのひはあつちんてんてん
うのひはあつちんてんてん



「あつちんてんてんてん
はなをよしのあつちんてんてん
あつちんてんてんてん

「あつちん
あつちんてんてん
あつちんてんてん

「あつちん
あつちんてんてん
あつちんてんてん

お

「あつちんてんてん
あつちんてんてん
あつちんてんてん

あつちんてんてんてん
あつちんてんてんてん
あつちんてんてんてん
あつちんてんてんてん
あつちんてんてんてん
あつちんてんてんてん
あつちんてんてんてん
あつちんてんてんてん
あつちんてんてんてん
あつちんてんてんてん



「あつちん
あつちんてんてん
あつちんてんてん

「あつちん
あつちんてんてん
あつちんてんてん

の

のいさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ



のいさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ

のいさぐさ
のくさぐさ

のいさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ
のくさぐさ

北

北のいさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ



北のいさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ

北のいさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ
北のくさぐさ

く

くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

くさく



くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

くさくさくさく

く

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさくさく

くさく

くさく

くさく

くさく

くさく

くさく

くさく

くさく

くさく

くさくさく

くさく

くさく

くさく

くさく

いふこと

茶

茶の中なる茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ



茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ

東西盛南北鉄作
北尾重政任

茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ

茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ
茶の味はうらやまふそ

合
心
静
心
静
心

言
之
文

合
九
氣
喜
事
之
分

四
志
心

合
五
心
心

四
心
心

心
心

心
心
心
心
心

心
心
心
心
心

心
心
心

心
心
心
心
心

心
心
心
心
心

心
心

Handwritten text in a cursive script, possibly Latin or a similar European language, located at the top of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Latin or a similar European language, located in the upper middle section of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Latin or a similar European language, located in the middle section of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Latin or a similar European language, located in the lower middle section of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Latin or a similar European language, located in the lower middle section of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Latin or a similar European language, located in the lower middle section of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Latin or a similar European language, located in the lower middle section of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Latin or a similar European language, located in the lower middle section of the page.

^13
4448